

# 学校関係者評価結果（2014年度）

専修学校の学校評価は、2007(平成19)年の学校教育法及び同施工規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の義務・結果の公表に関する努力義務が課されています。

東京動物専門学校は、2014(平成26)年3月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受け、同年9月に初めての「学校関係者評価委員会」を開催し、その結果を本学ホームページなどに公表したところです。

そこで、2015年度の第1回「学校関係者評価委員会」を次により開催し、2014年度の評価を実施したので、ここに、その結果を報告いたします。

開催日：2015(平成27)年9月4日(金) 午後2時～午後4時

実施場所：あすか会議室(東京都中央区八重洲)

出席者：学校関係者評価委員及び学校関係者 計11名

## 会議概要及び結果

### 1. 2014(平成26年度)自己評価結果について

(1)平成26年度の卒業生の就職状況は、希望者120名に対し、就職者120名で100%であった。しかし、公立動物園では指定管理者制度等の導入によりハードルは低くなったが、正規雇用ではなく、嘱託等での採用であることが増加した。学校関係者の保護者より、嘱託等から正規職員への登用はあるかとの質問があったが、施設により異なるが、数年のうちに正規職員への登用試験の受験資格を得た上で受験し、合格すれば正規職員になれる事例を説明した。

また水族館に勤務する編成委員より、その水族館でも3年位で正規になれることも紹介される。

次に、企業委員より酪農関係は、酪農家数は減少しているが、大規模化が進んでおり、実情を踏まえた教育、実習が必要との意見をいただく。

(2)自主退学者について、2014年度は前年度の27名(18.0%)から13名(8.6%)に半減し、退学率が大幅に低くなっている。

## 2. 2014年度学校評価表の作成について

(1)2013年度に準じて、学校評価表を作成した。

(2)評価点の変動は、(4)学修成果の退学率、社会的な活躍及び評価の2項目について、3→4に改善した評価点を下した。理由として、退学率が下がったこと、動向調査や同窓会を開催し把握していることなど。

(3)現在の評価表の様式が、評価方法としては最善とは言えないが、来年度に向けて評価項目の追加変更を検討する。

## 3. 施設研修状況報告

2015年度施設研修に向けて、資料を説明した。

企業委員より、他の学校の学生と比べて、実習受け入れについて問題・課題は殆どない。実習により、飼育現場の厳しさ及び楽しさを知るよい機会である。

動物エリアに入るにあたっての注意事項の要望があった。それは、細心の注意をもって動物エリアに入ることであり、ヒヤリ・ハット教育を事前に行ってはどうかとの提案があった。

## 4. その他

第2回の委員会は、2016年2月17日(水)を計画しており、日程調整など、依頼し、終了した。

以上

今後とも、評価委員からのご意見、ご指導を頂き、その評価を具体的かつ明確な目標等を設定し、実行し、自ら評価し、社会への責任説明を果たすとともに、教育の質向上を目指す所存です。

## 学校関係者評価

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・ 保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

#### ①取り組み及び課題

学校の理念・目的は、明確になっている。育成人材像については、動物管理科のみの限られた単学科の学校ですが、卒業生の就職先は酪農、動物園水族館、ペットショップ、実験動物や行政機関までと多岐にわたり、共通点は動物関連ということである。育成人材像は、動物を扱うにふさわしい基礎的知識及び技量、心構えといった基本的なことを習得し、社会人として常識を備えた人材育成に努めている。

#### ②今後の改善方策

就職先が多岐にわたることで、今後は2学年前期から専攻別、例として、愛玩系などの科目の提供等による更なる飼育専門技術者の養成を検討する。

#### ③特記事項

2013年度より教育課程編成委員会を開催しており、企業等の委員より業界のニーズ等について、迅速かつ適格な情報を得て、学校運営に反映させる。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①取り組み及び課題

学校運営に関して、開校以来20数年経過し、その間、情勢の変化等に対応し改善を繰り返しながら、整備し対応してきているが、IT等の進展に伴う、業務の簡素化、効率化に関しては、まだまだ改善の余地はあり、今後の課題である。

②今後の改善方策

情報公開に関しては、HPを活用し実施しているものの、迅速な更新に努める。  
また「職業実践専門課程」の認可を受け、より職業実践的な教育に特化したものに取り組める仕組みや諸規定を整備する。

③特記事項

本年度、本校ホームページを、スマートホン対応に更新した。

### (3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

#### ①取り組みと課題

本年度も、学生及び保護者アンケートを実施し、その結果を講師等にフィードバックし、講義内容・授業や施設の改善に資するとともに、2015年3月に講師会を開催した。また教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会の開催により、企業の提言、指導事項、研修先施設等からの評価等を委員会で精査し、より職業実践教育に向けたカリキュラムや授業運営に反映させる。

#### ②今後の改善方策

アンケート結果については、迅速に結果を関係者に公表し、迅速なる改善を求める。外部評価委員からの提言については、真摯に受け止めて実行に移す。また職員の能力開発については、年次計画を作成し、立案・実践する。

#### ③特記事項

特になし

#### (4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④ ←	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ ←	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

#### ①取り組みと課題

2014年度の就職率も100%であり、特に、動物園・水族館には42名(35%)が就職できた。また、退学率が前年度より半減(13名、8.6%)したのは、学校説明や学生相談等による効果と思われるが、退学者ゼロを目指したい。卒業生の把握などの意味で、2015年1月に初の同窓会を開催し、200名超えの参加者を得た。今後とも動向調査の実施や同窓会の開催などで、卒業生の追跡把握に努めたい。

#### ②今後の改善方策

動物関連業種は多岐にわたっているので、今後も、就職指導を進める上で、魅力ある動物関連職種を紹介したり、卒業生が講師を務める社会学概論の授業の充実を図る。また、就職先の新規開拓にも努める。退学者問題は、退学が予想される、より早期でのカウンセリング等によりゼロを目指す。

#### ③特記事項

卒業後の社会的な活躍などについて、2014年5月に、2年毎の卒業生動静調査を実施した。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

①取り組みと課題

学生の相談、指導については、出欠席関係と試験関係が多く、例年と大きな変化はなかった。ここ4年間で学生数が増大し、職員もそれなりに増員しているが、各種支援体制の一層の充実に配慮したい。

2014年度に実施した保護者アンケート結果から、保護者と学校間の連携に関連する質問事項については、概ね良好な結果が得られている。

②今後の改善方策

学生相談窓口などの学生支援や生活環境への支援対策等の充実を図りたい。  
前年度に引き続き本年度も保護者アンケートを予定しており、より要望を聞き出せるような質問事項に改善する。

③特記事項

本校では、学生からの相談以前に、学生課が積極的に指導している。  
卒業生の動静調査を2年毎に実施しており、2014年度は5月に実施、また卒業生同窓会を2015年1月に開催した。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

長期設備整備計画に基づき、本年度は、経年変化等による劣化部分を主に改修した。改修箇所は、本館屋上防水、外装塗装工事、電源キューピクルなどである。実習は主に、富里キャンパスで実施し、飼育動物種数は哺乳類から硬骨魚類まで入れると 252 種となり、動物飼育実習においては、充分過ぎる種類及び飼育数である。

②今後の改善方策

設備のより一層の改善を図り、快適な講義が受講できるようにする。経年変化により劣化対策として、来年度は、エアコンの更新などを予定している。飼育実習では、動物の種類、飼育数は問題ないが、学生数の増加による、実習体制の見直し、改善は必要であり、職業実践課程に相応しい内容とする。防災体制では、年 2 回の訓練などを継続実施し、高い水準を目指す。

③特記事項

特になし



(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生募集活動は適正に行われているか	④	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

学生募集活動は、インターネットでの学校案内、募集重要事項等の掲載など情報提供ならびに職員が高校に出向き学生の誘致などを行っている。また学校説明会、授業見学体験入学及び施設見学のオープンキャンパスを、八千代校舎並びに富里飼育実習施設にて実施。課題として、富里施設への公共アクセスがないので、駅よりバスで送迎しているが、時間的に限られている点などである。

②今後の改善方策

富里実習施設見学にて十分な事前体験が施設的には可能だが、アクセスの改善が必要。マスメディアの影響により入学希望者がここ3年間は増加したが、中期的に学生の受け入れ確保の保証はなく、「職業実践専門課程」認可に伴い、高等学校へのより一層の本校の認知に期待したい。

③特記事項

学納金について、消費税対応として2016年度入学生より改定を決定した。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①取り組みと課題

この3年間は、入学者数の増加により、財務状況は良好だが、収入の大半は納付金であり、入学者の多寡が大きく財務に影響し、財務基盤の安定策はないとも云える。要は、入学者の確保如何によるものであり、一時的に入学生が増えたからと言って改善や投資は慎重にならざるを得ない。

②今後の改善方策

近年の少子化による学生数（18歳人口の減少）による学生数の減少に対して、入学者数獲得の安定に努める一方、経費の節約を徹底する。

③特記事項

2012年度取得した八千代校舎隣接地の有効活用を検討し、運用を図る。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営に努め、教職員及び学生にもその理解を呼びかけている。また個人情報保護にも基本的方針を守り、教職員の取扱に対し高く評価する。  
自己評価について、各種委員会を設置し開催、出てきた意見等にも早急に対応している。

②今後の改善方策

個人情報の管理については、ますます厳格化を求められるので、より一層の保護体制の強化をする一方、個人情報の漏えいについて教職員並びに学生に、より一層の自覚啓発を促す必要性がある。

③特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1

①取り組みと課題

毎年9月に学校祭を八千代校舎で行っており、本年度も3日間で1万名超えの来場者があり、やや混雑しているが地域住民等には楽しんで頂いている。2012年に取得した校舎隣接地も大いに活用しているが来場者の多さには対応しきれていない。  
小学生を対象に「キリンキッズクラブ」は継続的に運営している。

②今後の改善方策

学校祭の運営改善策を主催者である学生たちと今後とも、継続して検討する。

③特記事項

特になし